

県図なう。

令和3年7月15日 発行
第124号 (毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel: 099-224-9511



鹿児島県立図書館

鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。

ホットニュース

「さあ、夏だ！県図へ行こう！」

県立図書館では、今年も小・中・高校生に優しいミニ展示を行います。

まずは、「調べてワクワク、自由研究」[6月23日(水)～8月31日(火):児童文化室]です。標本作りや工作、自由研究に役立つ調べ物の本の他、読書感想文等の書き方が分かる本などを紹介します。楽しみながら自由研究をしませんか。

次に、「エコなくらしはじめました」[8月1日(日)～8月31日(火):1階閲覧室]です。ゼロカーボンシティ宣言やSDGs等、お家から一人でも始められる地球に優しい暮らし方を御案内します。

最後に「スイスイ楽しい海の本!」[7月23日(金)～8月22日(日):児童文化室]です。暑～い夏を涼しく過ごせる!?楽しい海の本を紹介します。

さあ、楽しい夏休みを過ごすために、「県図へGO!」。

図書館で探そう、調べよう!

鹿児島にも妖怪はいるの!?

先日、児童文化室を訪れた子供さんから、「鹿児島の妖怪について、調べたい」との御相談がありました。そこで、まず『鹿児島大百科事典』(南日本新聞社)で「妖怪」をひいてみると、「鹿児島の妖怪にはカッパ、ケンムン、天狗がいる」とあります。中でもカッパは、「川内川や始良川に棲み、ガラッパ、ガーロ、ガータロなどの呼び名があり、悪さばかりではなく、畑仕事を手伝う」という一面があることが分かりました。

その後カッパにまつわる話を探して『かごしまとさくら島の昔ばなし』(俣野集景堂)を調べたところ、始良川でガラッパに襲われた狭野尊(さののみこと)を救うために何百、何千ものガラッパの手を切り落としたという玉依姫尊(たまよりひめのみこと)の話が載っていました。「今も始良川には、そのガラッパの手形が残っている。」というくだりに、子供さんは目を輝かせていました。

続けて御紹介したのは、「鹿児島むかし話」上巻(著:上野詠未、高城書房)。「河童の恩返し」は、市来の牛ノ江にまつわる、人間の娘と恋に落ちた心優しい河童の話です。また、開聞の鏡池に伝わる「焼き印を押されたかっぱ」では、「頭のさらだけは、河童のほこり」という、かっぱの気概を感じさせる台詞も登場します。

河童と人間の知恵比べの中にも、人情味(…相手は妖怪ですが)あふれるやりとりに、薩摩の先人たちの懐の温かさを感じることができます。

さてこの夏、県立図書館で、ちょっぴり怖い薩摩の妖怪たちと出会ってみませんか?

新着図書案内

《一般図書》7月15日(木)

- 『千す』 西村 豊/写真・文 光村推古書院
- 『名画のミステリー』
美術雑学愛好倶楽部/編 天夢人
- 『東大メンタル』 西岡 壺誠/著 日経BP
- 『80パターンで英語が止まらない!』
塚本 亮/著 高橋書店
- 『近親殺人』 石井 光太/著 新潮社

《児童図書》7月22日(木)

- 『くまちゃんがちいさくなっちゃった』
トム・エリヤン/文 ジェーン・マッセイ/絵 光村教育図書
- 『きつねの窓』 安房 直子/作 金の星社
- 『ひかる石のおはなし』 小手鞠るい/作 あかね書房
- 『みつばちと少年』 村上しいこ/作 講談社
- 『野原できみとピクニック』 濱野京子/作 偕成社

読書活動推進スキルアップ研修会の御案内

公立図書館と家庭、地域、学校等が連携・協力し、読書活動に関する課題解決とスキルアップを目的に下記の要領で開催します。

- 1 熊毛会場
日時: 8月26日(木) 11:00～15:00
場所: 屋久島離島総合開発センター
講師: 鹿児島大学 原田 義則 准教授
 - 2 鹿児島会場
日時: 9月29日(水) 13:00～16:30
場所: いちきアクアホール
講師: 鹿児島国際大学 千々岩 弘一 教授
- 読書活動を、大人も子供も楽しめるよう、
みんなでスキルアップ!

図書館職員がつぶやき

高校まで理系だった私が本を読み始めたのは、大学浪人時代であった。いつも私を悩ませていたのは国語で、克服しないと大学に行けない。そのため、とにかく本を読んでやろうと考えた。

最初に読んだのは、当時、映画化された『帝都物語』だった。一週間で全10巻を読破した。

次に読んだのが夏目漱石だった。初期の作品は読みやすかったが、次第に内容が難しく感じられ、何度も読み返さなければ、理解できなくなった。

その時に気がついた。作者が使った言葉一つ一つを丁寧に受け止めることで、より深い理解ができることに。

以来、作者の思いを考えながら、深い読書をするようになったことで文系の大学へ進学し、果たして私は国語教師になった。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、梨屋アリエ/作の『きみの存在を意識する』(ポプラ社)です。

部活も勉強もうまくいかず、「何もしたくない」と思っていた。そんなある日、いつものように図書室へ行くと、この本が目飛び込んできた。なぜかこの本をすぐ読みたいくてたまらなかった。この本は、それぞれ問題をかかえている5人の中学2年生の物語。一人一人、必死に問題に立ち向かう姿に、「私もまだまだ頑張らないと」と、思うことができた。そして、いろんなことに挑戦していきたくと思った。これからも、精一杯、生きていきたい。



図書館クイズ

にじいろのほん『つみきのいえ』加藤久仁生
/絵 平田研也/文 (白泉社)からのクイズです。

おじいさんは あさおきてから まず なにをす
る?
①かおをあらう ②さかなをつる ③トイレに行く

ヒント
おなががすいたな

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、8月14日(土)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「②ライオン」でした。
たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
7月	11	12	13	14★	15	16	17
	18	19	20	21★	22	23	24
	25	26	27	28★	29	30	31
8月	1	2	3	4★	5	6	7
	8	9	10	11★	12	13	14
	15	16	17	18★	19	20	21◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日:9時～21時
※ 児童文化室は19時まで
日曜日・祝日(自撮):9時～17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(7月15日、7月30日、8月13日【予定】)
- は、児童文化室新着図書の日(7月22日)